

産業に役立つアクチュエータ研究開発の最前線  
ー最新アクチュエータ要素技術からアクチュエータシステムへの展開ー

企画：日本機械学会 機素潤滑設計部門

【協賛（予定）】

日本 AEM 学会，計測自動制御学会，精密工学会，日本設計工学会，日本ロボット学会，  
日本フルードパワーシステム学会，自動車技術会，他

【開催日】 2015 年 12 月 4 日（金）9:20~17:00

【趣旨】

産業機械，輸送機械から福祉機器にいたる我々のまわりの産業で活躍する機械では，多数存在する可動部に対して大小様々なアクチュエータが使用されています。特殊な装置・機器になると，その特殊性に合わせて既存のアクチュエータに代わって新しい原理のアクチュエータが要求されています。装置・機器開発の成否は，使用されるアクチュエータにかかっているといつて過言ではありません。

本講習会では，電磁，液圧，静電など様々な原理の産業に役立つアクチュエータについて，さらにはアクチュエータ，センサ，情報の融合などのアクチュエータシステムの新展開について，第一線で活躍する講師がわかりやすく解説します。新たな機器や駆動システムの設計・開発を目指す技術者，研究者，学生の皆様には，様々なアクチュエータについて基礎から最先端の情報まで全て学ぶことができるまたとない機会となります。奮ってご参加下さい。

【題目・講師】

- 9:00 受付開始
- 9:20-10:00 「薄肉金属ベローズ空気圧アクチュエータと省エネ空気圧システムへの応用」  
佐藤 恭一（横国大）
- 10:00-10:40 「細径人工筋が実現する新しいロボティクス」  
鈴木 康一（東工大）
- （休憩）
- 10:50-11:30 「ERF（電気粘性流体）を応用した高機能マイクロアクチュエータ」  
吉田 和弘（東工大）
- 11:30-12:10 「ECF（電界共役流体）を用いたマイクロ液圧源とその応用」  
金 俊完（東工大）
- （昼休み）
- 13:10-13:50 「センサとネットワークの融合の動向」  
大岡 昌博（名古屋大）
- 13:50-14:30 「インフォモーション工学の提案 アクチュエータをクラウドにつなぐ話」  
矢野 智昭（近畿大）

- 14:30-15:10 「球面駆動システム 球面モータおよびその周辺機器」  
矢野 智昭（近畿大）  
（休憩）
- 15:20-16:00 「スパイラルモータおよび磁気ねじモータの開発と産業応用」  
藤本康孝（横国大）
- 16:00-16:40 「次世代情報機器のための静電アクチュエーション技術」  
山本 晃生（東大）
- 16:40-17:00 アクチュエータの実演・総合討論

【定員】 40名、申込み先着順により定員になり次第締め切ります。

【会場】

横浜国立大学 教育文化ホール 中集会室

[横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1]

会場の地図はこちら <http://www.ynu.ac.jp/access/index.html>

【聴講料】

会員 16 000 円、会員外 19 000 円、学生員 5 000 円、一般学生 6 000 円

開催日の 10 日前までに聴講料が着金するようにお申し込み下さい。以降は定員に余裕がある場合当日受付をいたします。なおご入金後は取消しのお申し出がありましても聴講料は返金できませんのでご注意願います。協賛団体会員の聴講料は会員と同じです。

【申込先】

本会ホームページ <http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm> よりお申し込みの上、聴講料をご送金下さい。

【問合せ先】

機素潤滑設計部門 担当職員 渡邊 賢太

電話 (03) 5360-3504 / E-mail [watanabe@jsme.or.jp](mailto:watanabe@jsme.or.jp)